

右の図は、今回のまちづくり☆まつりの協力体制です。複数の団体がそれぞれの得意分野を担当・協力することで、大きなイベントを円滑に運営する事ができました。

当日は、一般市民、大学生、ボランティア団体等、様々な人が集まり、多くの情報交換を行う、充実したイベントとなりました。

### 5.2つのイベントで分かった事

- ①未経験者にはイベントの企画・実施は難しい
- ②複数の団体と協力する事で、大きなイベントを円滑に運営する事ができる
- ③まちづくりに興味がある人、何かやってみたいと思っている人は意外に多いという事です。

### 6.「賑わいづくりサポート育成システム」

以上のことを踏まえて、3CProjectは、「賑わいづくりサポート育成システム」を提案します。

このシステムは、「まちなかでの集まり」の機会をつくり、イベントや養成講座への参加・運営などを通して、一人ひとりや団体との繋がりを生み、それによって人々の「何かしたい」という思いを実現する事を目的とします。

つまり、「何かしたい人」と「その実現を手助けしてくれる人」とを繋ぐコーディネーターの役割を果たすものであり、この繋がりや人々の思いの継続によって、まちに日常の賑わいをつくります。

このシステムの実現・周知のため考えた一例が、3C ProjectのHP作成です。HP内に「あなたは何をしたい?」とし、次の様な選択肢を設置します。(右下図参照)

- ①「まちに集まりたい」「何かしたい」人へ「繋がり」の実現のために
  - ・ イベント参加
  - ・ 当日スタッフ
  - ・ 「企画」「広報活動」
- ②「もっと知りたい」人のために
  - ・ 養成講座

それぞれ参加したい項目・得意とする項目を選び、登録します。その事により、登録者へ各種案内が行なわれ、それぞれが「実現したい人」「実現を叶える人」となって活動していきます。

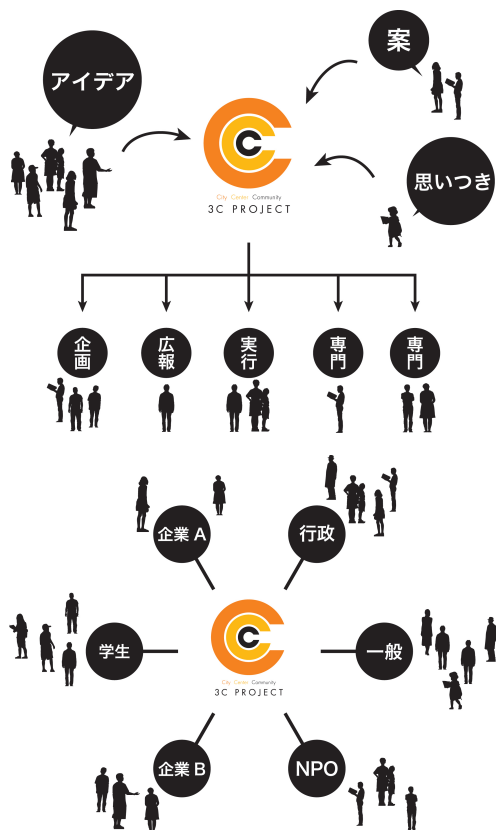
#### ■まちづくり☆まつりの協力体制



■まちづくり☆まつり担当イベントの様子



#### ■賑わいづくりサポート育成システム



■賑わいづくりサポート育成システムHP

